【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2009-301293(P2009-301293A)
【公開日】平成21年12月24日(2009.12.24)
【年通号数】公開・登録公報2009-051
【出願番号】特願2008-154589(P2008-154589)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　1/20　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　3/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　11/80　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　1/20　Ａ
Ｇ０６Ｔ　3/00　３００
Ｇ０６Ｔ　11/80　Ａ
Ｈ０４Ｎ　1/387

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月13日(2011.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
単一又は複数の動画描画処理命令及び単一又は複数のグラフィックス描画処理命令を含む描画処理命令を受け取って描画処理を行なう画像処理装置であって、
前記描画処理命令に含まれる前記グラフィックス描画処理命令に従ってグラフィックス描画結果を得るグラフィックス描画手段と、
前記描画処理命令に含まれる前記動画描画処理命令からクリッピング処理命令を生成するクリッピング処理手段と、
前記グラフィックス描画結果を前記クリッピング処理命令によりクリッピングしたクリッピング済グラフィックスを保持する保持手段と、
前記描画処理命令に含まれる前記動画描画処理命令に従って処理した動画データを生成する動画描画手段と、
前記保持手段に保持されている前記クリッピング済グラフィックスと前記動画描画手段により生成された前記動画データとを合成する合成手段と、
を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記描画処理命令を受け取って前記動画描画処理命令と前記グラフィックス描画処理命令とに分離し、前記動画描画処理命令を前記クリッピング処理手段及び前記動画描画手段に供給し、前記グラフィックス描画処理命令を前記グラフィックス描画手段に供給する分離手段を更に有することを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記動画描画処理命令は幾何学情報を含み、前記クリッピング処理命令は前記幾何学情報に従って動画データの占める領域をクリッピングし、前記動画描画手段は前記幾何学情報に従って前記動画に対して処理を施した前記動画データを出力することを特徴とする請

求項１又は２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記幾何学情報は、アフィン変換のパラメータであることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記幾何学情報は、動画に対するマスク情報であることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記合成手段は、前記動画描画処理命令が入力された順に動画データを合成し、前記グラフィックス描画結果が前記動画データの下層に位置するように合成することを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項７】
単一又は複数の動画描画処理命令及び単一又は複数のグラフィックス描画処理命令を含む描画処理命令を受け取って描画処理を行なう画像処理装置が行なう画像処理方法であって、
前記画像処理装置のグラフィックス描画手段が、前記描画処理命令に含まれる前記グラフィックス描画処理命令に従ってグラフィックス描画結果を得るグラフィックス描画工程と、
前記画像処理装置のクリッピング処理手段が、前記描画処理命令に含まれる前記動画描画処理命令からクリッピング処理命令を生成するクリッピング処理工程と、
前記画像処理装置の保持手段が、前記グラフィックス描画結果を前記クリッピング処理命令によりクリッピングしたクリッピング済グラフィックスを保持する保持工程と、
前記画像処理装置の動画描画手段が、前記描画処理命令に含まれる前記動画描画処理命令に従って処理した動画データを生成する動画描画工程と、
前記画像処理装置の合成手段が、前記保持工程に保持されている前記クリッピング済グラフィックスと前記動画描画工程により生成された前記動画データとを合成する合成工程と、
を有することを特徴とする画像処理方法。
【請求項８】
前記画像処理装置の分離手段が、前記描画処理命令を受け取って前記動画描画処理命令と前記グラフィックス描画処理命令とに分離し、前記動画描画処理命令を前記クリッピング処理工程及び前記動画描画工程に供給し、前記グラフィックス描画処理命令を前記グラフィックス描画工程に供給する分離工程を更に有することを特徴とする請求項７に記載の画像処理方法。
【請求項９】
前記動画描画処理命令は幾何学情報を含み、前記クリッピング処理命令は前記幾何学情報に従って動画データの占める領域をクリッピングし、前記動画描画工程は前記幾何学情報に従って前記動画に対して処理を施した前記動画データを出力することを特徴とする請求項７又は８に記載の画像処理方法。
【請求項１０】
前記幾何学情報は、アフィン変換のパラメータであることを特徴とする請求項７乃至９のいずれか１項に記載の画像処理方法。
【請求項１１】
前記幾何学情報は、動画に対するマスク情報であることを特徴とする請求項７乃至９のいずれか１項に記載の画像処理方法。
【請求項１２】
前記合成工程は、前記動画描画処理命令が入力された順に動画データを合成し、前記グラフィックス描画結果が前記動画データの下層に位置するように合成することを特徴とする請求項７乃至１１のいずれか１項に記載の画像処理方法。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像処理装置及び画像処理方法